



関係人口  
との絆を  
深める  
【教育支援】

2023

# 人材育成支援プロジェクト

南房総市の環境学習と観光プロモーションの取り組みに対する支援活動

環境学習ワークショップの様子

## 実施者

- ＜教員＞ 千葉工業大学 創造工学部 デザイン科学科 大嶋 辰夫 准教授
- ＜学生＞ 千葉工業大学 創造工学部 デザイン科学科 大嶋研究室 3年 大石 萌斗, 栗山 航汰, 榊 大翔, 佐藤 涼美, 佐藤 駿人, 長崎 泰祐, 鈴木 悠太, 友塚 滉樹, 中村 英介, 永浦 伊織, 浜出 駿佑, 三上 優弥, 三室 裕
- ＜協働パートナー＞

【行政関係】①南房総市 建設環境部 環境保全課 ②南房総市 商工観光部 観光プロモーション課

## 1. 背景・目的・活動内容

南房総市役所環境保全課から環境学習の活動に関する広報等の協力依頼があり、南房総市の市民に環境保全課が行っている環境学習の広報のサポート、参加者の満足度の向上を目的に活動を行った。

具体的な活動は、「環境学習の広報の一環」として、2023年に開催された環境ポスターコンテスト、環境標語コンテストの優秀作品を市民に紹介するサイネージで使用する動画コンテンツの制作(1月)、市民環境学習会開催のチラシとポスター作成、モノづくりワークショップ(2月)を行った。

また、観光プロモーション課が主催する「千田お花畑の映えスポット」アイデア募集コンペへの参加要請があり、現地視察(8月)を行い、研究室で個人の作品(8名)をまとめて応募(9月)した。その結果、最優秀賞と審査員特別賞を受賞(2月)し、最優秀賞の作品は実際に制作・設置された。

### (1) 環境学習のサポートについて

サイネージ用動画・環境学習チラシ・ポスターはデジタルデータでやり取りができる為、メールとGoogleドライブでデータを共有しながら作業を行った。今年度は環境ポスターだけでなく環境標語の優秀作品を紹介したいとの依頼があったので、ポスターサイネージ班(6名)と標語サイネージ班(5名)の2グループに分かれ個人でサイネージを制作し、南房総市のイメージに合うコンテンツを市役所で選定し、細かい部分の調整を行いサイネージに採用する選択制でおこなった。

また、環境学習会の時に実施したモノづくりワークショップは、エコをイメージできるよう南房総市が回収しているペットボトルキャップを用いて、ペットボトルキャップを再利用するというもので、「ペットボトルコースター」と「ペットボトルキーホルダー」を制作するワークショップを行った。「ペットボトルコースター」は、カラフルなキャップを好みに合わせて配置してアイロンで熱して潰しながら溶融接着させ、コースターを作るというもので家庭でも簡単に制作で

きるという提案を含んだワークショップである。「ペットボトルキーホルダー」は、キャップの内側にUVレジンを使い自分の好きなチャームを配置して固めるというもので、捨てるものでアクセサリとして作り持ち歩くことができるという試みである。定量的なデータはないが、どちらも好評であったとの意見をもらったので、一定の役割は果たせたと考える。

### (2) 「千田お花畑の映えスポット」アイデア募集コンペについて

「千田お花畑の映えスポット」アイデア募集コンペへの参加要請を学生に伝え、参加したい有志8名が応募した。最優秀賞を受賞した「小さな千田の駅」は、10～20歳代とファミリー層をターゲットとした見晴らしの良い花畑や海の景観を駅による非日常感を演出するという作品である。審査員特別賞を受賞した「花畑を見渡す小さなデッキテラス」は、安全に高い視線から花畑を見ることができる作品である。花の咲くシーズンは限られているので、2つの作品ともオフシーズンには、分解して移設・保管ができる仕様となっている。「小さな千田の駅」は実際に制作・設置(2月)され、設置後すぐに写真撮影スポットとして使われていたとの話であった。

## 2. 成果と課題

### (1) 地域貢献面

環境学習に関しては、環境ポスター優秀作品紹介サイネージの制作や環境学習会開催のチラシ・ポスター制作などを行い市民に対する広報活動の一助になったと考える。また、環境学習会開催に際して、記念として持ち帰ることができるワークショップを行ったことで、環境学習会に参加した市民により強い充実感を持つことができたと考える。

「千田お花畑の映えスポット・アイデア募集」に関しては、実際に制作されるとのことなので、完成後は観光客層を呼び込むスポットとなり、観光資源の一助となることを期待している。



サイネージの内容



サイネージ



環境学習ワークショップの様子



ワークショップ作品



環境学習会チラシ・ポスター



審査員特別賞を受賞した応募作品『花畑を見渡す小さなデッキテラス』

### 小さな千田の駅

ターゲット：10代～20代の若者とファミリー層  
コンセプト：見晴らしの良い花畑や海の景観×駅による非日常感の演出



オンシーズン



オフシーズン

- ✓ 最大3人まで座ることが可能
- ✓ 誰も座っていない状態でも映える
- ✓ みなたんぶりんやお土産と一緒に撮れる
- ✓ 広大な景観を引き立たせる

最優秀賞を受賞した応募作品『小さな千田の駅』



花畑を見渡す小さなデッキテラス(実物)

## 域学協働の工夫!

★南房総市役所 環境保全課：短期間で行わなければいけない内容に関しては、複数提案の中から選定し、その案をブラッシュアップすることで時間を短縮した。

### (2) 教育・研究面

コンテンツの検討・制作を通じて、学生個々の作品制作に関する意識と技術の向上を図ることができた。また、実務に関わる担当者との打ち合わせやヒヤリング、研究室内でコンペを行い、学生同士での内容の相互評価、切磋琢磨など今後役立つ貴重な経験が得られた。

### 3. 今後の展開

- ・南房総市のイベント等に参加して、親子向け環境学習ワークショップを開催し、環境学習への興味と楽しさを、モノづくり、実験を通して伝えていく。
- ・家庭でも環境学習を実施出来るようなモノづくりコンテンツを充実させ、環境学習を広く浸透させるための一助とする。

\*表彰・マスコミ掲載など  
・「フォトスポット案決まる 千田の花畑に設置へ」房日新聞、2023年10月23日  
・「フォトスポットが完成 千田の花畑 千葉工大の学生がデザイン」、房日新聞、2023年10月23日